

豊かなくらしの礎をこれまでも、これからも

土木学会は2014年11月に創立100周年を迎えます。

2014年度を100周年YEARとして、全国にて市民交流事業を実施しています。それぞれの会場に合わせて、いろいろな企画を組み合わせ開催します。入場は無料、申し込みも不要ですので、どうぞお誘い合わせのうえお立ち寄りください。

土木コレクション HANDS+EYES

先人達の「迫力ある図面」を見よ！土木が果たしてきた社会的・歴史的役割や土木の仕事の魅力や面白さを広く知っていただくため、近代日本を築いてきた建造物の貴重な手書き図面や貴重な資料を一般公開。



土木コレクションHANDS+EYESでは、2014年度の100周年YEARを記念し、HANDS 89事例、EYES 12事例を掲載した全156ページの特製図録を展示会場で販売いたします。通常650円(税抜)のところ、エルガーラ・パサージュ広場では、特別に500円(税込)での提供です。どうぞお買い求めください。



どぼくカフェ

土木と広い意味で関連づけたテーマに関し、土木からの発信だけでなく、「一般市民から」の話題提供を企画することにより、新しい土木と市民との関係性を模索するイベントです。



会場でアンケートにご協力、または募金いただいた方に、「土木コレクション特製クリアファイル」をプレゼントします。クリアファイルは地域ごとに全8種類。全国各地の巡回展を巡って上記の条件を満たすと、全種類のクリアファイルを揃えることができます。ぜひ全国の会場を巡ってみてください。

土木コレクション2014

HANDS + EYES

土木エンジニア ドローイング展

土木エンジニア ニューヴォー展

ドボコレ特製
クリアファイル



2014年4月 >>> 2015年3月

北海道札幌市、宮城県仙台市、群馬県前橋市、千葉県習志野市、東京都中央区・千代田区・新宿区、神奈川県平塚市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市・豊中市、広島県広島市、島根県松江市、愛媛県松山市、福岡県福岡市

「土木コレクション2014in福岡」の開催にあたっては、多くの方々からご協力・ご支援いただきました。

- 後 援 -

国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市

- 協 力 -

大丸福岡天神店、風景デザイン研究会、公益社団法人土木学会 関西支部 FCC

- プロジェクトスタッフ -

石橋 知也、榎本 碧、尾崎 史治、佐藤 直之、関 房子、島谷 幸宏、末松 聖二、高橋 薫、高橋 良和、田中 逸雄、永村 景子、林 博徳、樋口 明彦、平井 信之、松波 成行、峰 祥彦、宮崎 大、横町 信也

全国で開催される2014年度100周年記念事業の詳しいイベント情報は

100周年特設サイト <http://jsce100.com>

土木コレクション特設サイト

<http://dobokore.jsce.or.jp>

FACEBOOK [土木コレクションHANDS+EYES](#) 検索

◎主催／公益社団法人土木学会 創立100周年事業実行委員会

◎共催／公益社団法人土木学会 西部支部

◎企画／100周年事業実行委員会市民交流 (C) 部会 各会場毎WGメンバー／土木の日実行委員会／土木コレクション小委員会

お問い合わせ先 公益社団法人 土木学会 100周年事業推進室
TEL.03-3355-3442(平日9:00-17:00)

土木学会 100周年記念事業 土木コレクション2014 in 福岡

HANDS

土木エンジニア ドローイング展

+ EYES

土木エンジニア ニューヴォー展

HANDS 土木エンジニア ドローイング展

明治期から昭和初期、土木エンジニアは高い志と熱意、プライドを持って国土づくりに取り組んできました。この時代のエンジニアによる手書きの図面一枚一枚からは彼らの意思と当時の技術の高さが伝わってきます。

EYES 土木エンジニア ニューヴォー展

未来を見通した土木のこれからの感じてもらえる新しいコンセプトのプロジェクトを紹介します。

▶ 日 時

6/4 (水) - 8 (日) 10:00-20:00

6/4 (水) 12:20- オープニングセレモニー
6/7 (土) 18:00- どぼくカフェ

▶ 会 場

大丸福岡天神店 エルガーラ・パサージュ広場

▶ 入場無料

土木コレクション HANDS+EYES 6/4 (水) -8 (日) 10:00-20:00

土木の魅力、土木の範囲の広さや奥深さを実感してもらうことを目的に、「土木コレクション」として、土木界が保有する歴史資料、図面、写真など、普段目にすることがない貴重な資料を展示、公開します。エルガーラ・パサージュ広場では、地元九州エリアの12事例のほか、中国エリア11事例、四国エリア9事例の合計32事例を紹介します。

展示パネル一覧 (●はHANDS、○はEYESの事例です。)

九州エリア

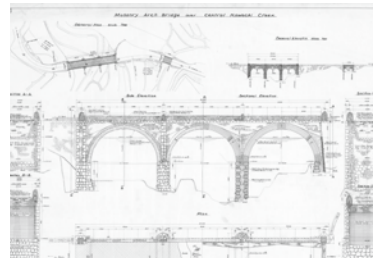
- 12 名島橋 ●13 西海橋 ●14 三池港 ●15 松浦川・アザメの瀬地区自然再生事業
- 16 嘉瀬川・石井樋地区歴史的水辺整備事業 ●17 筑後川昇開橋
- 18 河内貯水池 周辺橋梁群 ●21 三角西港 ●22 旧曾木発電所
- 23 白水堰堤 ●24 第三五ヶ瀬川橋梁 ●27 首里城

中国エリア

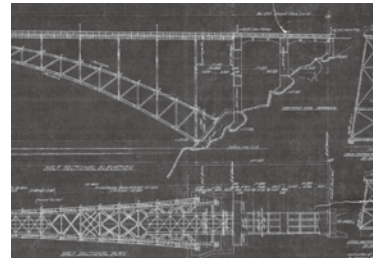
- 3 高粱川改修と東西用水酒津樋門 ●4 岡山市水道事業
- 19 松江市水道事業 ●20 児島湾干拓 ●25 恩原ダム・奥津調整池
- 26 三滝ダム ●28 太田川 ●29 方谷橋 ●30 日野橋
- 31 本庄貯水池 ●32 惣郷川橋梁

四国エリア

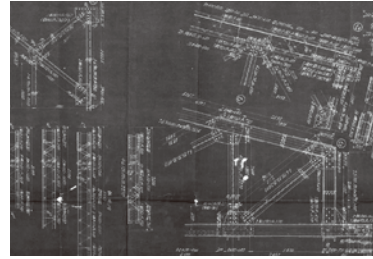
- 1 安田川 馬路村農協前水制 ●2 穴吹橋 ●5 豊稔池堰堤
- 6 第二領地橋梁 ●7 吉野川橋 ●8 吉野川第一期改修工事
- 9 長浜大橋 ●10 旭浄水場 ●11 道後温泉本館周辺広場



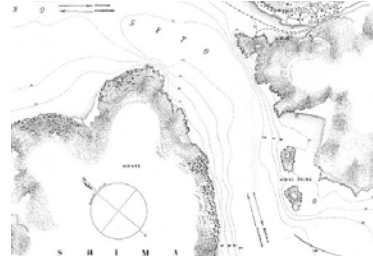
河内貯水池堰堤 / 中河内橋全体図



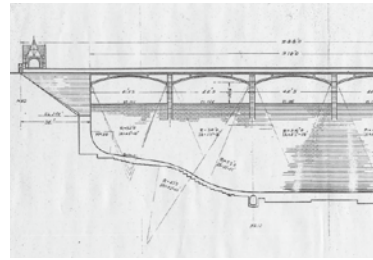
西海橋 / 全体図



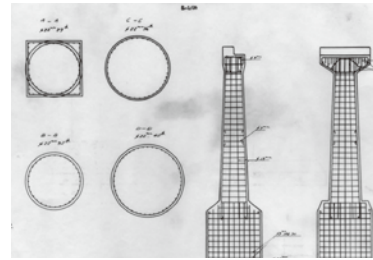
筑後川昇開橋 / 吊上塔設計図



三角西港 / ムルデルによる平面図



白水堰堤 / 堰堤平面図



第三五ヶ瀬川橋梁 / 橋脚の配筋図

どぼくカフェ「コクドウを味わう」

6/7 (土) 18:00-20:00

文明を作ってきた土木屋と文化としてのドボクに興味ある若者、その様子に気づく街ゆく人々。日常にさりげなく現れる土木的なもの。それが「どぼくカフェ」の魅力です。今回、九州で初めての開催で、テーマは「道」。道を趣味にするってどういうことでしょうか？あなたを奥深いドボクワールドへお連れします。

▶プログラム:

1. 「どぼくカフェとは？」
高橋良和 (どぼくカフェ主催者 / 京都大学)
2. 「コクドウを味わう」
松波成行 (国道愛好家)
3. パネルディスカッション「道が趣味とは？」

▶松波成行 (<http://japan.road.jp/>)

道路趣味者で知らぬものはない国道愛好界のカリスマ。「国道の謎」(祥伝社, 2009年)、「酷道をゆく」(イカロス出版, 2008年)、「酷道 vs 秘境駅」(イカロス出版, 2011年)など著書多数。日本道路協会「道路」や道の駅新聞「Route Press」などでもコラムを執筆。



オープニングセレモニー 6/4 (水) 12:20-

エルガーラ・パサージュ広場での土木コレクション HANDS+EYES 開催にあたり、関係者による挨拶及びテープカットを行います。土木の魅力を活かして社会の未来にどうつないでいくか、その想いに耳を傾けてください。

〈会場レイアウト図〉 ※同会場内で開催される他イベントの状況により、レイアウトが変更になる時間帯がございます。詳しくは、受付にお問い合わせください。

